人が未来−Next Technology Frontier®

Alps 株式会社アルプス技研

会社説明資料

50th おかげさまで50周年 Since 1968

株式会社アルプス技研

2018年12月期

− 東京証券取引所市場第一部　証券コード：4641 −

開発・設計の高度技術者集団

Copyright @ 2019 Altech Corporation All Rights Reserved

説明のポイント

【2018年度　通期決算概況】　P3～P10

連結：50周年コスト増を吸収し、5期連続最高益更新

個別：人数・単価UPが工数減を吸収し堅調に推移

【2018年度　施策結果】　P11

次世代の強みを創る施策　推進

【2019年度　通期施策・業績・配当予想】　P12～P18

第2創業期で最高業績更新に邁進

【新中期経営計画】　P19～P23

・2019年～2021年新中計（ローリング）発表

・外国人材活用を積極推進

Copyright @ 2019 Altech Corporation All Rights Reserved

・研究開発投資は過去最高水準
・高度技術者の需要は引き続き旺盛

製造業界	輸出動向 概ね横ばい	自動車業界動向 次世代車向けのR&D投資活発
人材業界	派遣要請 高稼働率維持 需給逼迫	人材獲得競争 採用手法の多様化に加え、外国人材の活用も進展し競争激化

Copyright @ 2019 Altech Corporation All Rights Reserved

■2018年度 決算概況

・連結/50周年事業こなし最高業績更新
・個別/稼働人数、単価の伸び率さらに上昇

（単位：百万円）

【連結】	2017年12月期	2018年12月期	増減率
売上高	30, 260	**32,781**	8. 3%
営業利益	3, 238	**3,586**	10. 7%
経常利益	3, 275	**3,605**	10. 1%
親会社株主に帰属する当期純利益	2, 367	**2,667**	12. 7%

（単位：百万円）

【個別】	2017年12月期	2018年12月期	増減率
売上高	25, 049	**27,480**	9. 7%
営業利益	2, 894	**3,156**	9. 1%
経常利益	3, 137	**3,361**	7. 1%
当期純利益	2, 363	**2,541**	7. 5%

Copyright @ 2019 Altech Corporation All Rights Reserved

営業利益率は10.9%で着地

（単位：百万円）

【連結】	2017年12月期	2018年12月期	増減率
売上高	30,260	**32,781**	8.3%
売上原価	22,737	**24,406**	7.3%
売上総利益	7,522	**8,374**	11.3%
販管費	4,283	**4,788**	11.8%
○売上高販管費率	14.15%	14.60%	0.45%
営業利益	3,238	**3,586**	10.7%
○売上高営業利益率	10.70%	10.94%	0.24%
営業外収益	105	**114**	8.1%
営業外費用	68	**95**	38.4%
経常利益	3,275	**3,605**	10.1%
特別利益	143	**300**	109.6%
特別損失	70	**81**	14.9%
税金等調整前当期純利益	3,348	**3,824**	14.2%
親会社株主に帰属する当期純利益	2,367	**2,667**	12.7%
○売上高当期純利益率	7.82%	8.13%	0.31%

主な売上・利益増加要因

①高稼働率の維持
②単価の上昇
③稼働人数の増加
④社員数の増加

主なコスト増加要因

＜持続性：個別＞
①処遇向上による原価増
（期初から影響）
⇒社員定着率向上のため

＜一過性：個別・連結＞
①広告宣伝費の増加
⇒当社の魅力訴求のため
（採用・営業・社内向け）
②50周年関連費用増
・販管費の他、特別損失に
周年広告費等計上

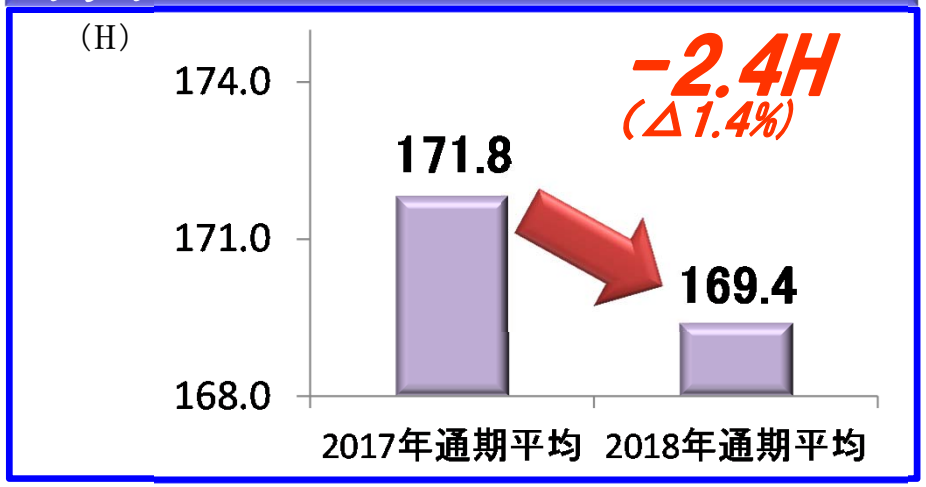
Copyright @ 2019 Altech Corporation All Rights Reserved

働き方改革の影響で稼働工数減少/人数・単価は伸び

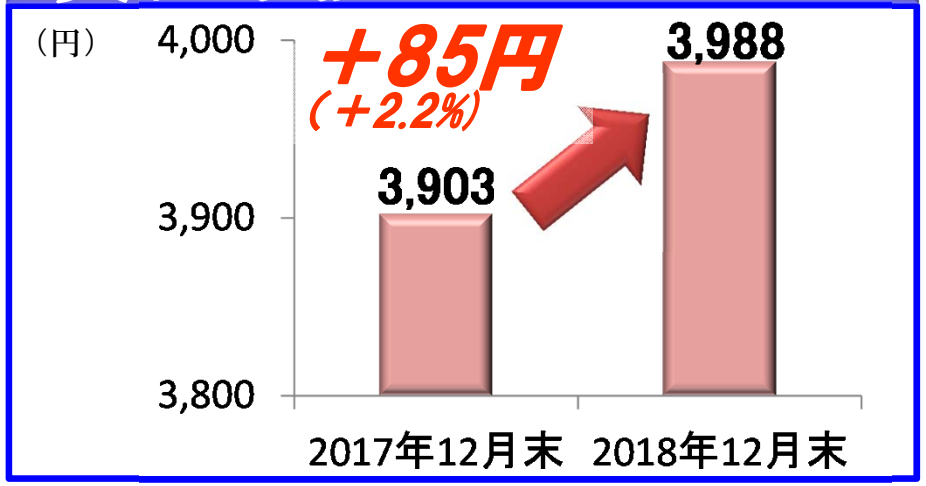
技術社員数 ※2018年12月末時点

稼働人数 ※2018年12月末時点

稼働工数 ※2018年度 通期平均



契約単価 ※2018年12月末時点



※契約単価・・・顧客との契約に基づく「1時間当たりの単価」。売上を構成する「実単価」と異なり、残業代を含まない。
※稼働工数・・・技術者として業務に対応した「月当たりの実務時間」。

Copyright @ 2019 Altech Corporation All Rights Reserved

■稼働工数動向と営業について

外部環境の変化

・働き方改革で残業△、法律で残業時間や有休取得日数の要件が厳格化
・残業規制が優良派遣事業者認定の要件に追加

＋

顧客動向の変化

・大手顧客中心に工数高止りの企業で削減の動きが顕著
⇒当社の平均稼働工数△に影響

当社の対応

1. 営業戦略のシフト
一人当たりの工数△を人数増＋単価UPでカバー

工数△ → 人数増 単価UP

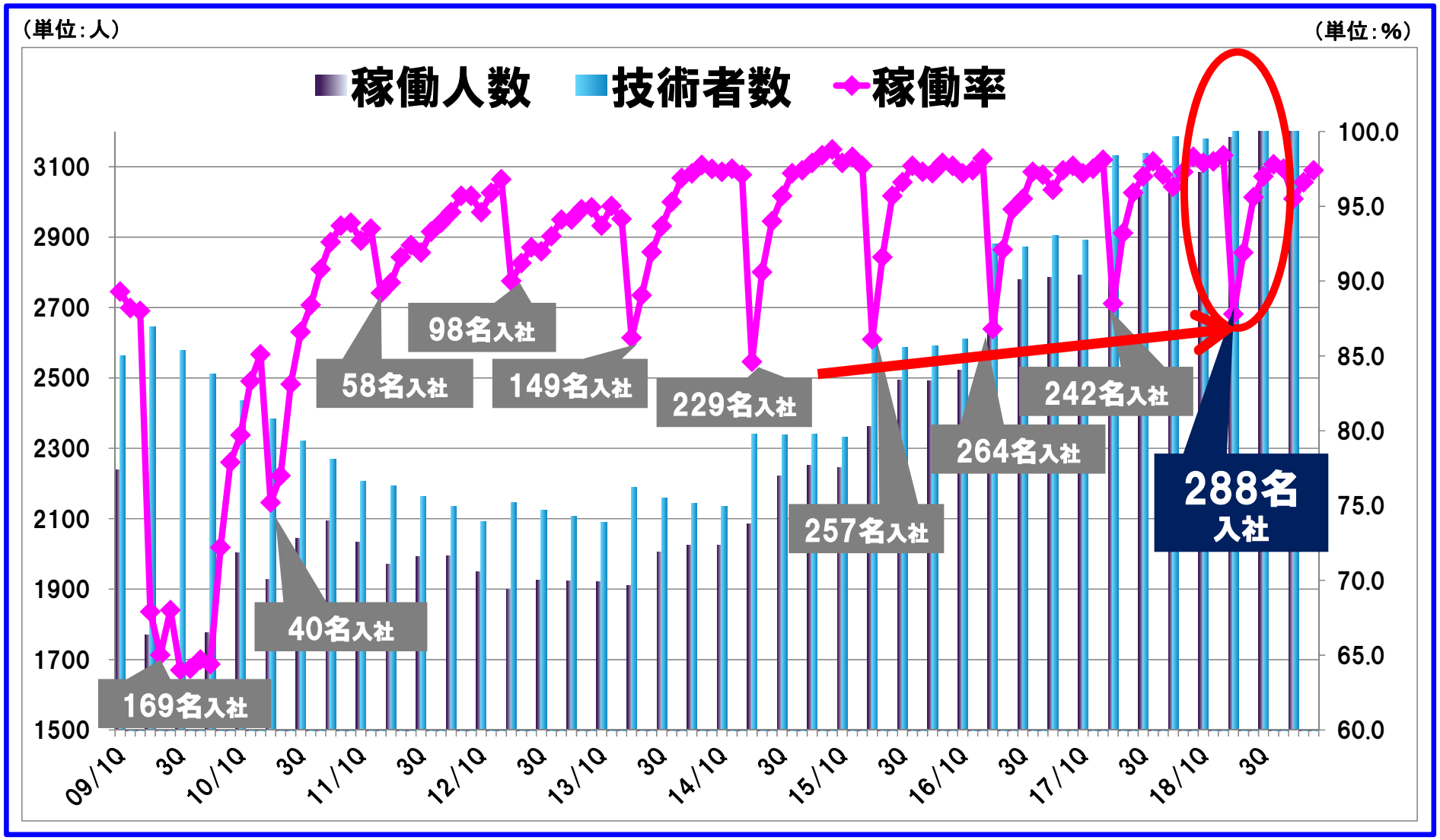
2. 顧客毎の工数分析で繁閑を見極め、成長分野・領域の技術力を向上し案件獲得

今後の予想

・工数△の影響は続く
（工数高止り企業で削減の動きが進展）
・但し所定労働時間（月約160時間）を下回る下落は考えにくい

Copyright @ 2019 Altech Corporation All Rights Reserved

・フル稼働に近い高稼働率を維持
・採用人数増加するも新卒早期稼働は維持

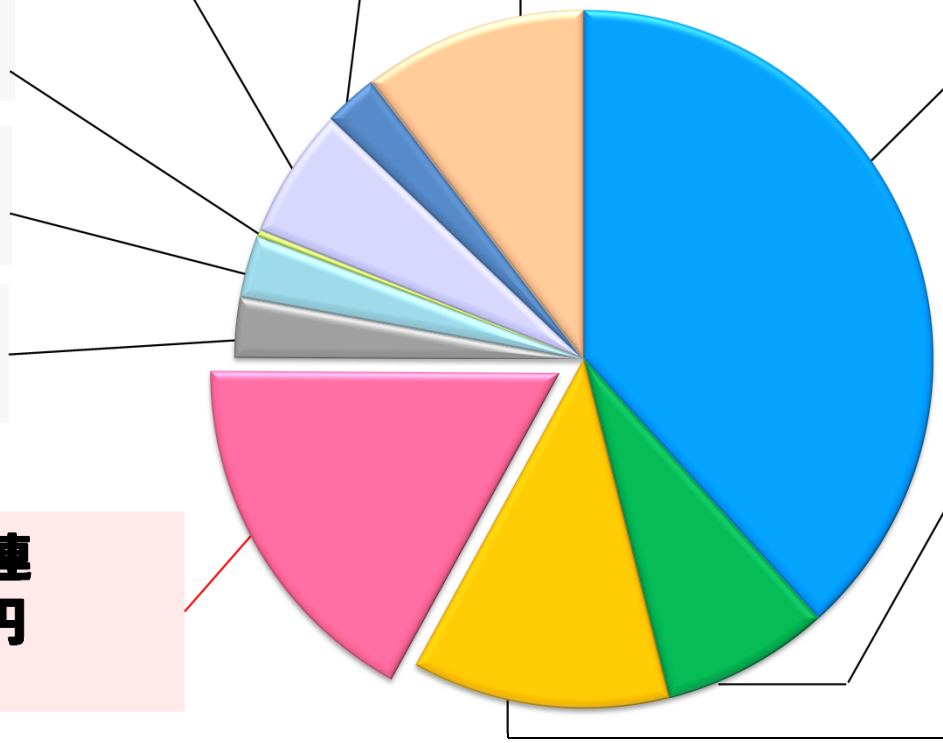


※①「稼働人数」…四半期毎の稼働人数（人） ②「技術者数」…四半期毎の技術者総数（人） ③「稼働率」…月当たりの新卒を含む全社稼働率（％）
グラフ内入社者数…4月入社の新卒技術者数（キャリア採用・秋入社のグローバルエンジニアは含まない）

Copyright @ 2019 Altech Corporation All Rights Reserved

・自動車関連は最大シェア維持
・半導体関連堅調な伸び/動向注視

業種別売上高(2018年通期)



※上記グラフは最終製品に紐付く分類。【例】技術分野：電機、最終製品：EVの場合⇒「①自動車関連」に分類

Copyright @ 2019 Altech Corporation All Rights Reserved

自動車、半導体関連の需要が堅調

売上上位10社

2016年度　通期	2017年度　通期	2018年度　通期
東芝	三菱電機	三菱電機
三菱電機	東芝メモリ	東芝メモリ
キヤノン	キヤノン	東京エレクトロン テクノロジーソリューションズ
デンソーテクノ	東京ｴﾚｸﾄﾛﾝ ﾃｸﾉﾛｼﾞｰｿﾘｭｰｼｮﾝｽﾞ	アイシン・エィ・ダブリュ
ソニーセミコンダクタ	ソニーセミコンダクタ	ソニーセミコンダクタ
日野自動車	アイシン・エィ・ダブリュ	キヤノン
ソニーＬＳＩデザイン	日野自動車	東京エレクトロン宮城
三菱重工業	三菱重工業	オートリブ
富士通テン	ソニーLSIデザイン	日野自動車
アイシン・エィ・ダブリュ	デンソーテン	日立オートモティブシステムズ
上位10社比率　22.7%	上位10社比率　19.4%	**上位10社比率　20.0%**

※東芝グループの表記・・・2017年4月以降は分社化に伴い、東芝様、東芝メモリ様の2社に分けて表示

Copyright @ 2019 Altech Corporation All Rights Reserved

■2018年度 施策結果

項目	取組み状況
1．アルプス技研	
① 19年新卒（ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙｴﾝｼﾞﾆｱ含む）/18年キャリア採用	グループ連携推進　19年新卒：目標達成見込、18年キャリア：目標達成
② 事業環境の変化に対応した組織づくり・研修の実施	ダイバーシティ重視の多様な研修、未来思考型の人材育成推進
③ 顧客への多様なニーズにお応えする体制構築	アグリテック等の新規顧客開拓進展 先端IT人材育成強化
2．グループ会社	
① ABS人員増強、事業拡大	単価上昇し、売上高堅調な伸び
② パナR&Dのｸﾞﾙｰﾌﾟ連携	営業・採用でグループ連携強化し好調に推移。19年新卒も着実に確保
③ 台湾・上海	台湾・上海間の連携を高め、中国大陸の案件確保にも注力
④ アグリ＆ケア	アルプス技研の特定機関認定を受け、外国人材育成・採用・新規顧客開拓を推進

【備考】ABS・・・ｱﾙﾌﾟｽﾋﾞｼﾞﾈｽｻｰﾋﾞｽ、 ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙｴﾝｼﾞﾆｱ・・・中国、ベトナム等の新卒外国人技術者。当社が現地大学等と提携、育成し採用。

Copyright @ 2019 Altech Corporation All Rights Reserved

■2019年 次世代を創る施策(個別)

成長を支える3本柱[採用・教育・営業]の好循環

1. 採用

①ｸﾞﾙｰﾌﾟ各社との相互連携強化
②学生の多様な就職ニーズへの対応
③ASEAN域内での採用体制構築

達成目標

・'20新卒280名採用
・'19ｷｬﾘｱ160名採用

2. 教育

①ｸﾞﾙｰﾌﾟ全体の教育研修体系再構築
（先端技術/ｱｸﾞﾘﾃｯｸ/ｱｸﾞﾘ/介護など）
②幹部/ミドルクラスの人材育成強化

・第2創業期を担う
未来思考の人材育成

3. 営業

①新規事業の優良顧客開拓、早期稼働
②時流変化捉えた提案の推進
③技術者発信型マッチングの推進

・高単価ゾーン拡大
・CSブランド強化

Copyright @ 2019 Altech Corporation All Rights Reserved

■2019年度 通期施策(グループ)

次世代の強みを創るべく
グループ連携を一層強化

チームアルプス

国内事業

アルプスビジネスサービス
人材ｻｰﾋﾞｽ拡大・質向上
新事業分野の創出

パナＲ＆Ｄ
人員拡大の継続
受託/ｿﾌﾄ分野受注拡大

海外事業

台湾・上海・ミャンマー
既存事業の収益向上
ASEAN域内で事業拡大

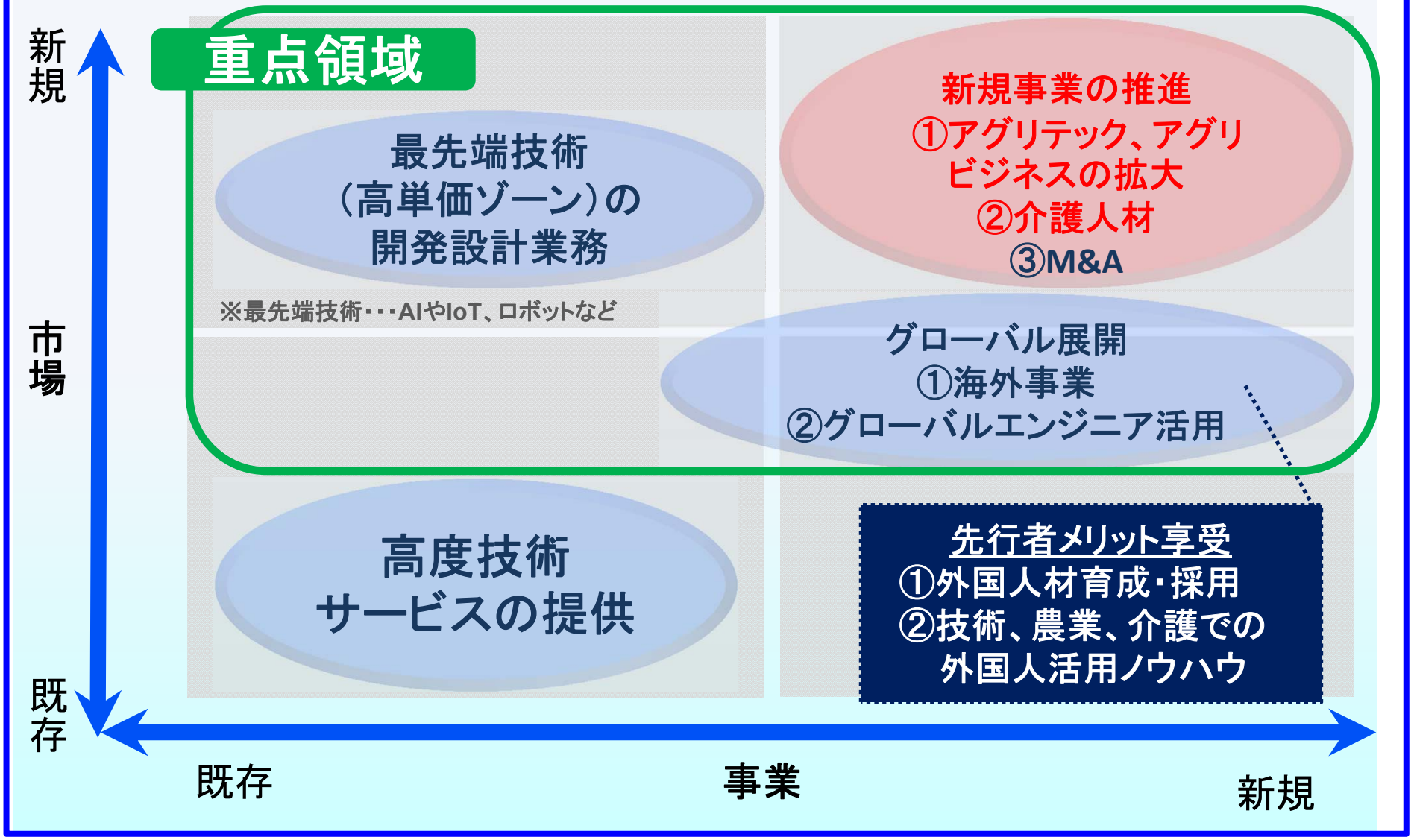
日本国内のグローバル人材受入
ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙｴﾝｼﾞﾆｱ/ｱｸﾞﾘﾃｯｸ
/ｱｸﾞﾘ人材採用強化

＜新会社＞アグリ＆ケア（2018年4月設立）
新設在留資格想定しｱｸﾞﾘﾃｯｸ/ｱｸﾞﾘ人材営業強化
日本語力・質の高い人材育成、顧客開拓推進

Copyright @ 2019 Altech Corporation All Rights Reserved

■中長期成長ビジョン

既存事業の強化・新規事業への挑戦



Copyright @ 2019 Altech Corporation All Rights Reserved

■アグリ（農業）関連トピックス

・農業支援外国人受入事業
　当社が愛知県で全国第１号「特定機関」認定
　※他の国家戦略特区（京都府・新潟市・沖縄県）も認定
・ベトナム、ミャンマー、中国のアグリテック、就農人材入社。多くの新聞、TV等に取り上げられる。

全国初の特定機関認定(愛知県)

右から内閣府大臣政務官　長坂　康正氏、
愛知県知事　大村　秀章氏、
当社代表取締役社長　今村　篤、
㈱アグリ＆ケア代表取締役社長　新谷　雅司、
業務執行役員中日本事業部長　神原　功二

グループ入社式　2018年10月

グローバルエンジニア、
アグリテック人材、就農（アグリ）人材入社

Copyright @ 2019 Altech Corporation All Rights Reserved

■アグリテック、就農人材活用

・グループ全体で外国人採用/育成ノウハウ結集

2018年4月に(株)アグリ＆ケア設立

●来日前後（稼働前）に十分な研修を実施
　（日本語教育、ビジネスマナー、ＣＳ研修など）
●生活面サポート、派遣開始後の密なフォローを継続実施
⇒ 顧客の研修費用･期間の負担軽減

Copyright @ 2019 Altech Corporation All Rights Reserved

■業績予想

連結：最高業績更新へ

（単位：百万円）

【連結】	実績					業績予想	
	17年度通期	2018年度通期				2019年度通期	
	実績	期初予想(18年2月公表)	実績	前年同期比	期初予想比	金額	前年同期比
売上高	30,260	32,400	32,781	8.3%	1.2%	35,470	8.2%
営業利益	3,238	3,430	3,586	10.7%	4.5%	3,780	5.4%
経常利益	3,275	3,510	3,605	10.1%	2.7%	3,860	7.1%
親会社株主に帰属する当期純利益	2,367	2,370	2,667	12.7%	12.5%	2,680	0.5%

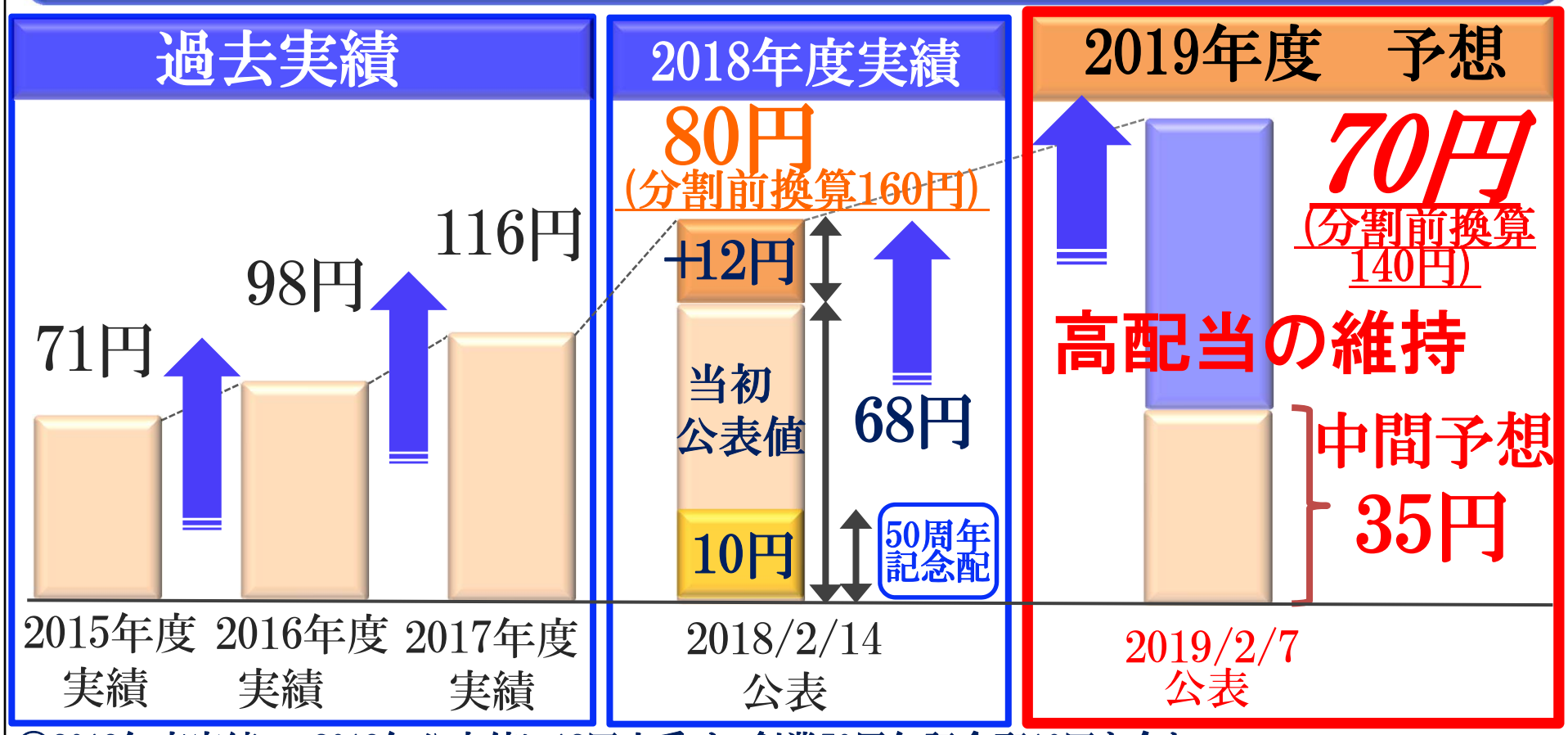
【個別】	実績					業績予想	
	17年度通期	2018年度通期				2019年度通期	
	実績	期初予想(18年2月公表)	実績	前年同期比	期初予想比	金額	前年同期比
売上高	25,049	26,800	27,480	9.7%	2.5%	29,840	8.6%
営業利益	2,894	3,010	3,156	9.1%	4.9%	3,210	1.7%
経常利益	3,137	3,240	3,361	7.1%	3.7%	3,520	4.7%
当期純利益	2,363	2,230	2,541	7.5%	13.9%	2,510	-1.2%

●利益予想：一過性要因（ｱｸﾞﾘﾃｯｸ/ｱｸﾞﾘ人材採用、及び第2創業ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ推進に伴う一時的なｺｽﾄ増）により個別当期純利益はﾏｲﾅｽ予想だが、本業は好調に推移する見込み。

Copyright @ 2019 Altech Corporation All Rights Reserved

■配当予想（2019年度年間配当金）

【配当の基本方針】
- 連結ベースでの配当性向50％を基本とする
- 中間配当金は年間配当金の50％を目処とする
- 業績にかかわらず年間配当10円を維持する（安定配当の見地）



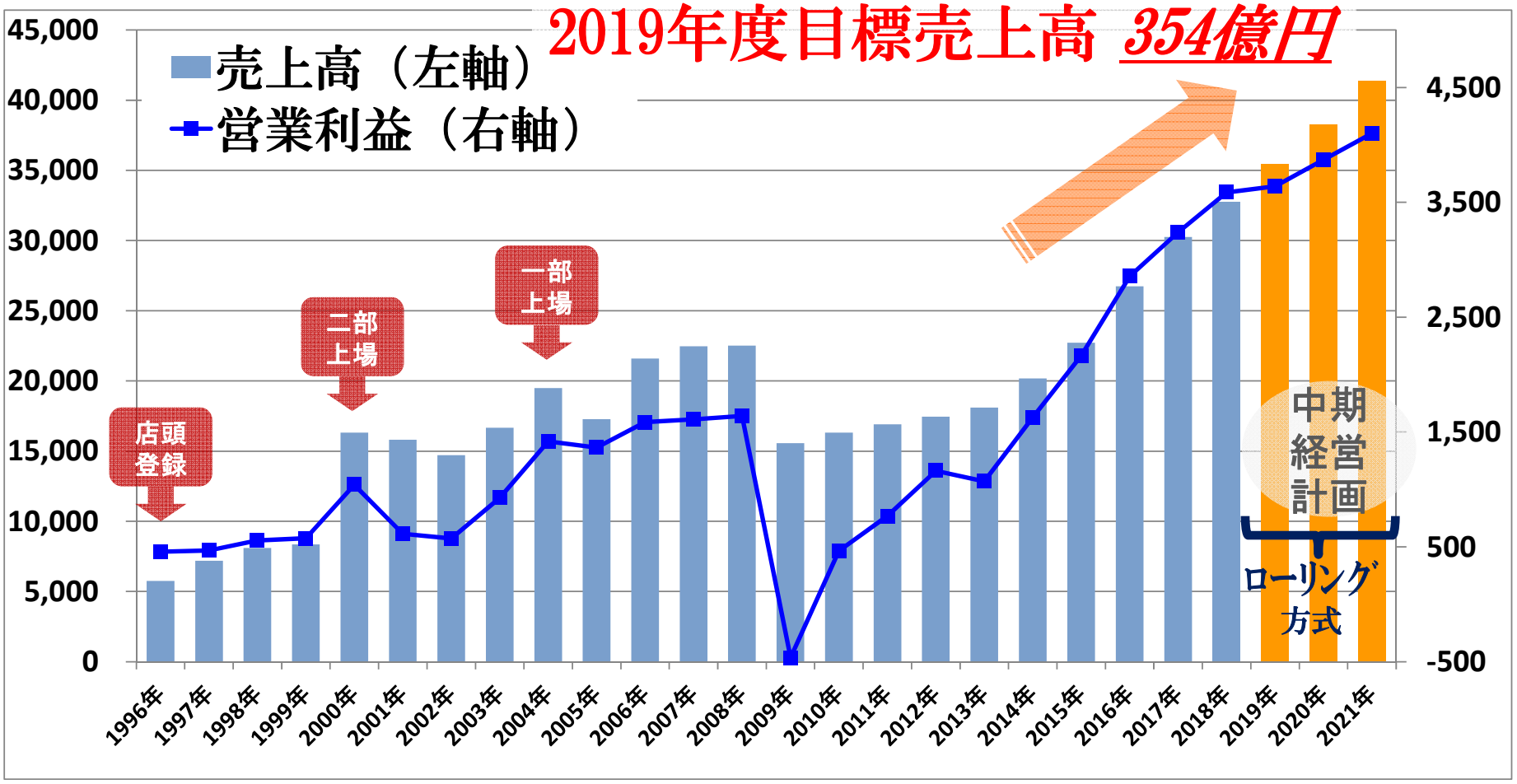
①2018年度実績・・・2018年公表値に12円上乗せ。創業50周年記念配10円を含む。

Copyright @ 2019 Altech Corporation All Rights Reserved

■業績推移

増収・増益

第２創業期の礎作り着実に成長を達成



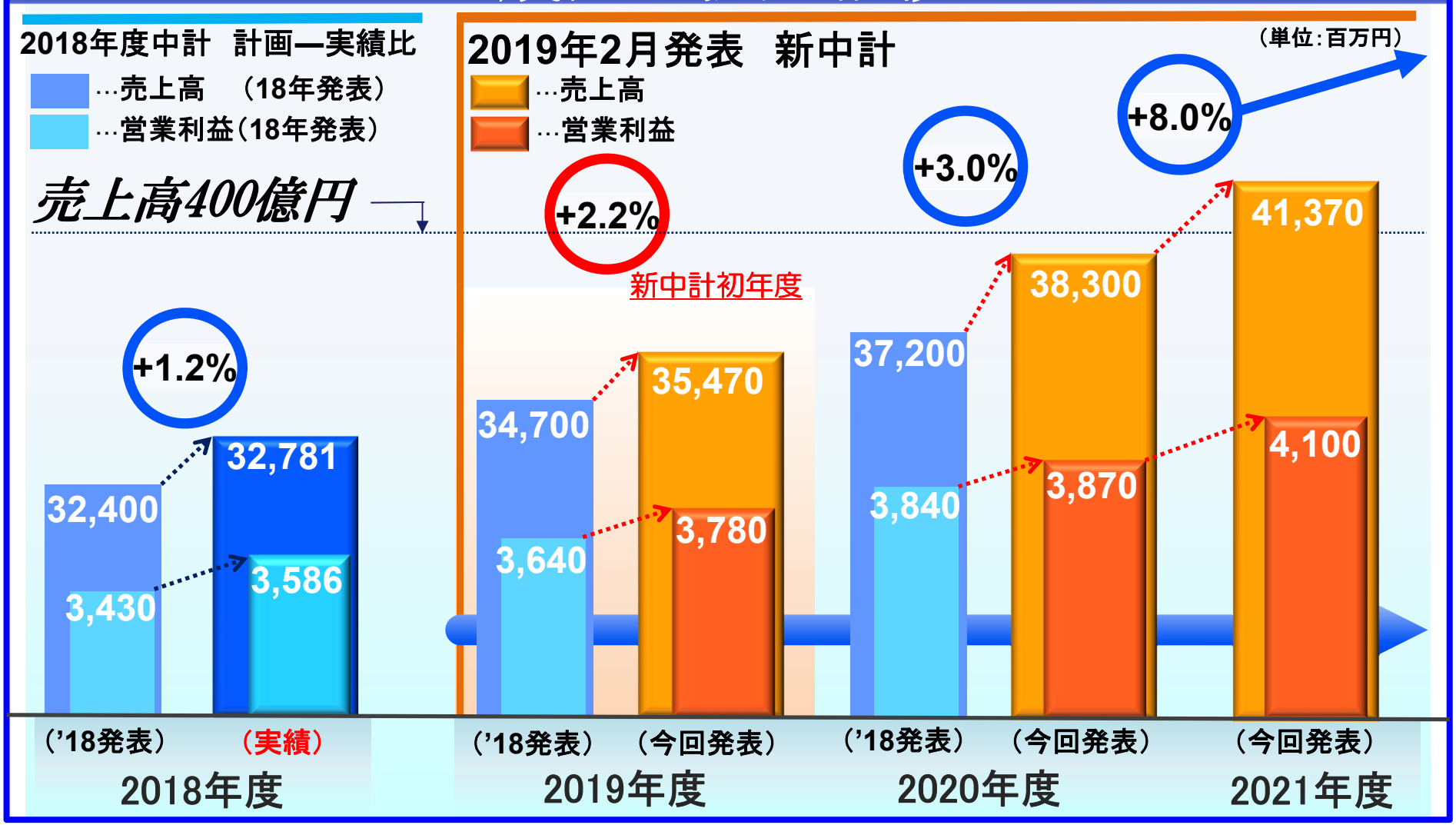
単位：百万円

【備考】①1996年～1999年は個別業績　②2000年以降は連結業績

Copyright @ 2019 Altech Corporation All Rights Reserved

■中期経営計画 18年公表比

2021年に売上高400億円突破を見据え 成長・拡大継続



【備考】全て連結

Copyright @ 2019 Altech Corporation All Rights Reserved

■新中期経営計画（連結・定量目標）

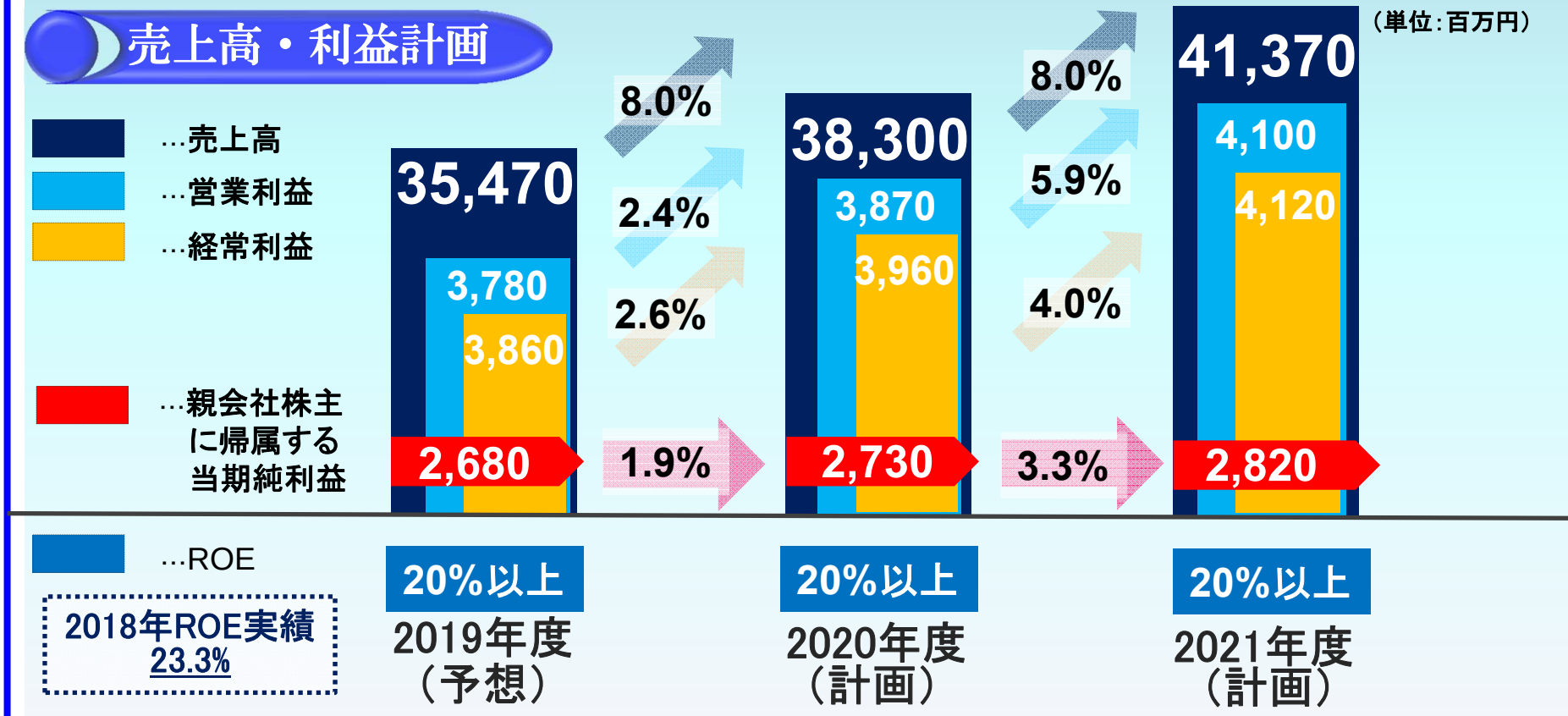
第11次5ヵ年計画（2023年までにありたい姿）

定性目標: 新産業革命時代に向けた経営資源の再投資

3ヵ年毎のローリングプランを策定⇒持続的なイノベーション

売上高・利益計画

（単位：百万円）



※2018年4月設立の新会社「㈱アグリ＆ケア」の業績を含む。

Copyright @ 2019 Altech Corporation All Rights Reserved

■中期経営計画（連結）※定性目標更新

各施策と主な内容

1

アウトソーシング市場における持続可能な競争優位性の創出

■内容

①ドメイン再構築による売上拡大と収益力向上
②グループ連携による多様な採用活動の拡大
③グローバル人材の雇用拡大・育成強化
④他社と差別化された企業ブランディング実行

2

投資の拡大による成長の加速と収益基盤の強化

■内容

①農業・介護分野における新たな市場創出
②次世代技術を軸とした資本・業務提携推進

3

事業環境の変化に対応した人材育成と組織の最適化

■内容

①ITシステム投資にて高水準の業務効率実現
②シニアや女性、障がい者が活躍する環境整備
③技術と経営視点を持った未来志向の人材育成

【備考】定性目標は第11次5ヵ年計画に基づき内容更新

Copyright @ 2019 Altech Corporation All Rights Reserved

＜第２創業期の取組み推進＞

未来思考で新たな事業価値を提供

1 第2創業ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄで次世代に向けた強み創出

- 新規事業推進
  - ・新領域への挑戦
- 多様な採用活動の拡大
  - ・魅力発信
  - ・グループ採用
- 海外ビジネス創出
  - ・事業化可能性調査継続
- 広告宣伝強化
  - ・広告掲出
  - ・キャラクター活用
- 先端技術研究開発
  - ・AI教育強化

2 第2ビルから強み発信

「アルプス技研第２ビル」から新規分野への参入開始

3 未来人材育成

未来思考・独創型人材の育成

4 健康経営宣言

①人間ドック補助拡大
②健康増進活動推進

5 社員間交流 活性化

アグリビジネスを意識したロボコン開催/ﾌｯﾄｻﾙ大会開催

Copyright @ 2019 Altech Corporation All Rights Reserved

アルプス技研は、引き続き積極的に株主還元の充実を図ってまいります。

【免責事項】
本資料に記載されている業績予想、将来予測等は、作成時点において入手可能な情報に基づく見通しであり、潜在的リスクや不確実性が内在しています。
実際の業績は、経営環境や様々な要因の変化によって記述内容と大きく異なる可能性があります。

人が未来–Next Technology Frontier®
Alps 株式会社アルプス技研

Copyright @ 2019 Altech Corporation All Rights Reserved